

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

| | | | | | | |
|--------|---------------------------|-------------------------------|---|--|--------------------------------|-----------------------------|
| P T A名 | 静岡県立浜松特別支援学校 P T A （磐田分校） | | | | | |
| 学校 | 対 象 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 | <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 | <input type="checkbox"/> 肢体不自由 | <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 | <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部 | |
| | 全校児童・生徒数 | 30人 | | | | |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | トーンチャイム |
| 使用学年及び人数 | 小学部1～6年 中学部1～3年 計 30人 |
| 使用頻度 | 単元で使用する場合は1か月間程度、週一回使用する。 |
| 使用状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の学習で、一つの単元・題材を通して使用する場合、1か月間程度、毎週火曜日に使用している。 ・季節に沿った活動の中で、音楽を扱う際に使用している。 |
| 物品の使用による変化や効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした音楽授業において、トーンチャイムは子どもたちの音楽への関心を高めるとともに、協調性や表現力を育む教材として大変有意義に活用しています。 ・実際の授業では、児童生徒が互いに音を響かせながら合奏することで音楽を通じたコミュニケーションの楽しさを体感し、音の違いや響きに対する感性が育まれている様子が見受けられました。 ・特に、音楽が苦手な児童でも積極的に参加する姿が見られました。 |
| 今後の活用の見通しや課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブル活動や創作的な音楽表現の場において、より幅広い活用を図っていく予定です。また、音楽の授業だけでなく、学校行事や地域交流の場面でも活用できる可能性を感じました。 ・継続的な活用に向けた課題もあります。 |
| その他希望や所感など | <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、音楽教育の充実と子どもたちの豊かな感性の育成に努めてまいります。 |

2. 活用の様子

